

市町村名	久米島町							
平成29年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート								
事業名	風の帰る森プロジェクト推進事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他					
担当部課名	プロジェクト推進課	事業実施(予定)年度	平成29～33年度					
事業内容	観光誘客及び企業誘致を図るため、町外からの寄付金を基に整備する交流施設と相乗効果が期待できる周辺設備を整備する。							
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(平成35年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,655					
		(b) 予算現額	19,655					
		(c) 増減額(b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計(b+d)	19,655					
	B. 執行済額		19,618					
	うち補助金充当額		15,694					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.8%					
予算の状況の説明		当初の計画どおり、銭田公園エリアを含めた周辺の基本計画の策定及び給水施設の詳細設計を行い、事業は適正に執行できた。不用額の37千円は委託時の入札減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況					
			29年度	30年度	31年度	32年度		
	基本計画及び施設詳細設計		目標	策定完了				
		実績	策定完了					
達成状況説明		○銭田公園エリア及び周辺を含めた基本計画の策定完了 ○銭田公園エリアのインフラ整備のため給水施設の詳細設計の完了						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(28年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(35年度)	
	当該エリアを訪れる観光客数		目標	/	-	-		3,000人以上
			実績	-	-	-		
	貸しオフィスへの入居事業所数		目標	/	-	-		3社以上
			実績	-	-	-		
	進捗状況説明		○風の帰る森プロジェクト基本計画の策定。 ○平成30年度整備予定の給水施設の詳細設計策定。					

市町村名	久米島町
------	------

平成29年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	観光客誘客強化事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/>	産業振興
			<input type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成29年度	

事業内容
観光誘客を図るため、協議会設立、事業計画策定などDMO発足に向けた取組を行うとともに、海洋深層水を活用した観光体験プログラムの開発等を行う。

先導性に係る取組	<input type="checkbox"/>	自立性	<input type="checkbox"/>	政策間連携	<input type="checkbox"/>	離島活性化を担う人材の確保・育成
	<input checked="" type="checkbox"/>	官民協働	<input checked="" type="checkbox"/>	事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/>	その他

効果発現年度 当年度 後年度(平成30年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		29年度				
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	16,976			
		(b) 予算現額	16,976			
		(c) 増減額 (b-a)	0			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計 (b+d)	16,976			
	B. 執行済額		16,521			
	うち補助金充当額		13,217			
	次年度繰越額		0			
執行率 (%) (B/A)		97.3%				
予算の状況の説明		当初の計画とおり、島の観光全体を盛り立てていくために関係者で構成するDMOの設立に向けた検討委員会の実施、島の地域資源を活用した魅力的な観光コンテンツの醸成に取り組む等、事業は適正に執行出来た。事業費が455千円不用となったのは、事業の一部において計画より日数を要せず完了出来た業務があり、その直接経費(人件費)の縮減によるものである。				

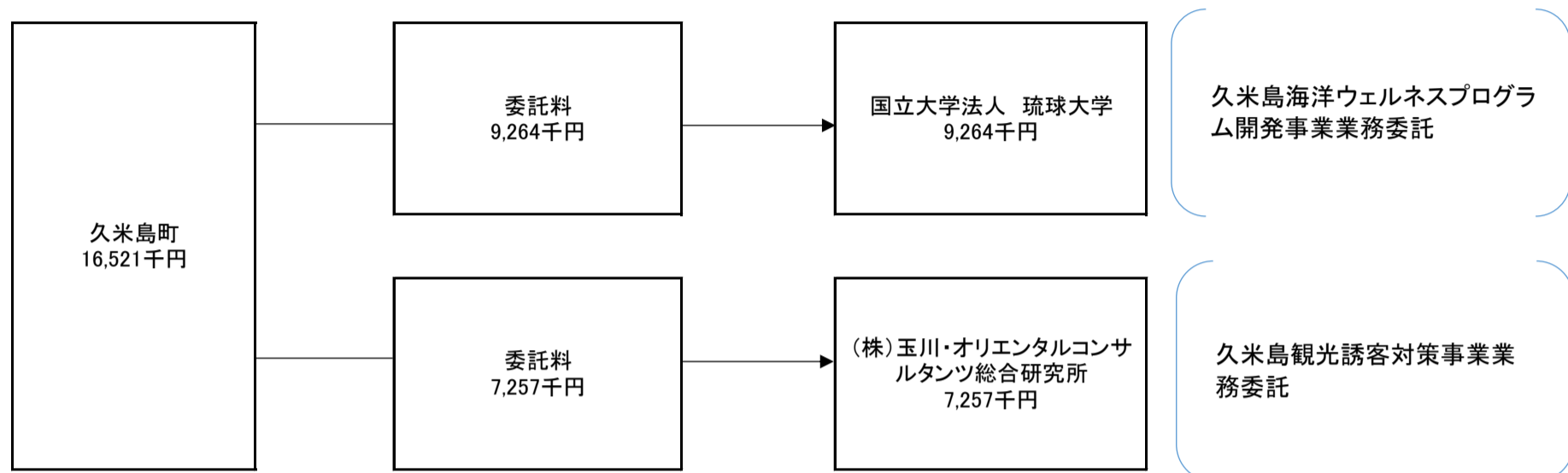
活動目標(指標)	達成状況			
		29年度		
「久米島海洋ウェルネスプログラム」の開発方針の策定	目標	実施		
	実績	実施		
DMO設立に向けたセミナー、検討委員会の開催	目標	実施		
	実績	実施		
達成状況説明	<p>○既存の医学系学術論文等を整理し、根拠に基づく海洋深層水の効用を「海洋深層水の健康データベース」として取りまとめた。また、整理した海洋深層水の効用を観光コンテンツに活用していくため、観光商品開発の基本的な方針を策定した。</p> <p>○DMOの設立に向けた取組として、先進地のDMO関係者を招聘したセミナー(2回)、町内の観光関係者による検討委員会(5回)を実施した。</p> <p>○ウェルネスプログラムの開発方針の策定について、プログラムの構成素材となる「自然」「運動」「食」等の検証を行い、プログラム開発の準備が整った。</p>			

成果目標(指標)		基準値 (28年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (33年度)
成果目標 (指標) 及び進捗状況	入域観光客数	目標	-	120,000人以上	-	-
		実績	111,509人	109,742人	103,309人	
	(参考指標) 海洋深層水を活用した新体験プログラム への参加者数	目標	-	-	-	600人以上
		実績	-	-	-	
進捗 状況 説明	<p>ODMO設立及び海洋深層水を活用した観光誘客による効果は平成30年度に発現することから、本事業の効果は平成30年度の入域観光客数で計測することとした。なお、平成29年度の入域観光客数は109,742人であった。</p> <p>○今年度整理した観光商品開発の基本的な方針に基づき、次年度以降に海洋深層水を活用した観光誘客のための体験プログラムを開発することから、当該プログラムへの参加者数を指標として設定して取り組む。</p>					
取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)			
	<p>○海洋深層水を活用した観光商品造成にあたっては、市場ニーズを的確に捉えたプログラムとして具現化するとともに、プログラムを提供する人材(インストラクター等)の育成も必要である。</p> <p>○ODMO設立に合わせ、運営を担う組織形成やコア人材の確保も重要となる。</p>		<p>○市場ニーズを正確に調査・分析し、広く受け入れられ、多くの誘客が可能な観光商品となるよう、多種多様なプログラムを造成する。併せて、プログラムを実践する人材の育成に取り組む。</p> <p>○運営を担う組織形成や中核人材の確保・育成も重点的に取り組む。</p>			
今後の取り組み方針						
<p>○海洋深層水の効用を「美容・アンチエイジング効果」、「健康長寿・ダイエット効果」、「癒し・メンタルヘルス効果」の3分野に分類し、それぞれの分野ごとに体験プログラムを造成する。なお、プログラムの造成にあたっては、モニターツアー等を行うことで、市場ニーズに合致したプログラムとなるよう留意して取り組む。また、プログラム開発に併せて、各プログラムを提供する人材の育成・確保方法についても検討する。</p> <p>○ODMO設立に向け着実に取り組みを進め、地域観光全体を牽引し、盛り上げる組織とする。</p>						

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
16,521	16,521	13,217	3,304	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	企画公募等により選定された事業者であり、これまでの事業実績から見ても妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、2社見積によるものになっており妥当と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的を達成する為に必要な費目で予算化しており妥当である。また、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、検収時において確認を行い適正であった。

市町村名	久米島町					
平成29年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート						
事業名	久米島の産業魅力向上プロジェクト			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他	
担当部課名	商工観光課			事業実施(予定)年度	平成29～31年度	
事業内容	島内事業者の販路拡大及び新規事業創出を促すため、商談会やセミナー開催、専門家派遣等の支援を行う。					
	先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他		
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(平成31年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		29年度	30年度	31年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,561			
		(b) 予算現額	19,561			
		(c) 増減額(b-a)	0			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計(b+d)	19,561			
	B. 執行済額		12,889			
	うち補助金充当額		10,311			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		65.9%			
予算の状況の説明		当初計画どおり企業ブランディング、中核人材育成、リクルートサイト構築、商談会等を行い、事業は適正に執行できた。事業費が6,672千円不用となったのは、中核人材育成研修やセミナー等の実施回数が当初計画の15回から1回に減となったこと等によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況			
				29年度	30年度	31年度
	企業ブランディング支援	目標	3社			
		実績	3社			
	中核人材育成支援	目標	5社			
		実績	8社			
	合同リクルートサイト構築・情報発信	目標	実施			
		実績	実施			
	地域資源調査及び地域資源を活用した創業・新事業活動支援	目標	実施			
		実績	実施			
販路拡大の取組支援	目標	実施				
	実績	実施				
達成状況説明	○プロジェクトマネージャー、コーディネーター、アドバイザー等の専門員を配置し、産業魅力化に必要なプロジェクトを行った。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (28年度)	29年度	30年度	31年度		
	島内企業合同リクルートWebサイトを活用 した就業の成立件数	目標			3件以上	-	-	
		実績		-	1件	3件		
	東北地方における商談成立件数	目標			-	-	3件以上	
		実績		-	1件	0件		
	クラウドファンディング実施件数	目標			-	-	4件以上	
		実績		-	0件	0件		
進捗 状況 説明	<p>○島内企業合同リクルートWebサイトを活用した就業成立件数については、サイト構築に時間を要したため求人情報発信が短期間となり、実績件数は1件、達成率は33%にとどまった。</p> <p>○東北地方における商談成立件数、クラウドファンディング実施件数については、商談成立件数が1件あり、またクラウドファンディングについても実施に向けたセミナーへの参加者が一定程度あり、目標年度(平成31年度)での達成に向け順調である。</p>							

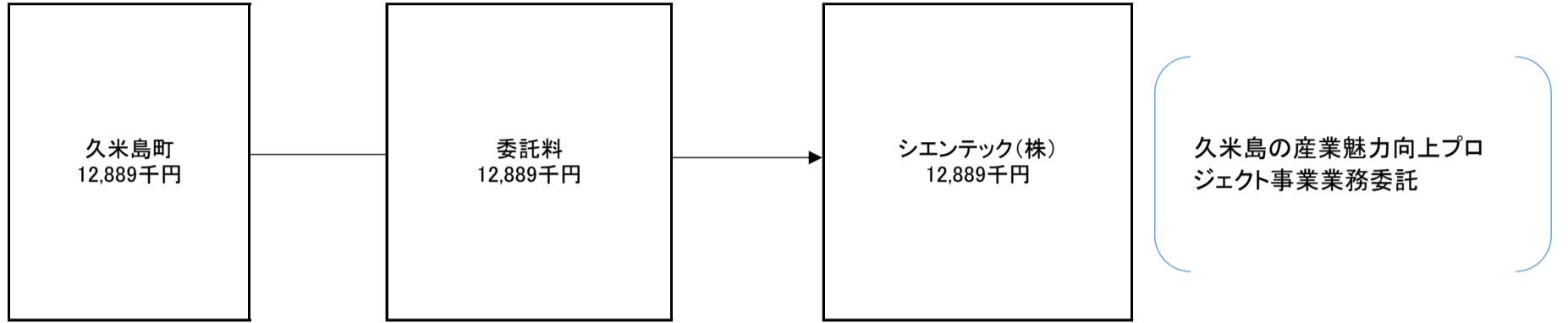
取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<p>○リクルートWebサイトを活用した雇用者確保について、サイト構築に想定外の時間を要したため、求人情報の掲載、採用活動が十分に行えなかった。</p> <p>○商談会は久米島の「食材」をメインとした内容とした為、商談先の参加者事業者(職種)が食品関連事業者のみとなり、久米島の産業全体の活性化という観点では効果が限定的なものとなった。</p> <p>○クラウドファンディングについては、島内事業者にとってあまりなじみがなく、クラウドファンディングを通じた資金調達に抵抗感をもつ事業者が多く見られた。</p>

今後の取り組み方針	
<p>○Webサイトに掲載するコンテンツを充実させるため、島内事業者に求人情報の掲載等、サイトの活用を継続して呼びかける。また、記事の掲載にあたっては、単に求人情報のみを掲載するのではなく、久米島や島内事業者の魅力を伝えるような記事を作成することとし、島内外に向けた情報発信を行うことで、雇用者の確保につなげる。</p> <p>○久米島の産業全般に波及する商談会の企画・実施に取り組むとともに、一般消費者を対象とした物産展の同時開催を模索し、久米島の産業全体の活性化やブランド化につなげる。</p> <p>○クラウドファンディングについて、興味を持った事業者の個別のプロジェクトを支援し、具体的な活用事例の確立・共有を行う。また、資金調達の手段としてだけでなく、販路開拓に向けた宣伝として活用できることにも着目し、クラウドファンディングの活用を推進していく。</p>	

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
12,889	12,889	10,311	2,578	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	企画公募により選定された事業者であり、これまでの事業実績から見ても妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、2社見積によるものとなり妥当と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的を達成する為に必要な費目で予算化しており妥当である。また、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、検収時において確認を行い適正であった。

市町村名 久米島町

平成29年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	久米島町健康増進事業	事業類型	<input type="checkbox"/>	産業振興
			<input checked="" type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他
担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	平成29～31年度	

事業内容 糖尿病の因子解明に向けた調査研究及びスマホアプリ等を活用した保健指導システムの構築を行う。

先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性	<input type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成
	<input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他

効果発現年度 当年度 後年度(平成30、31年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

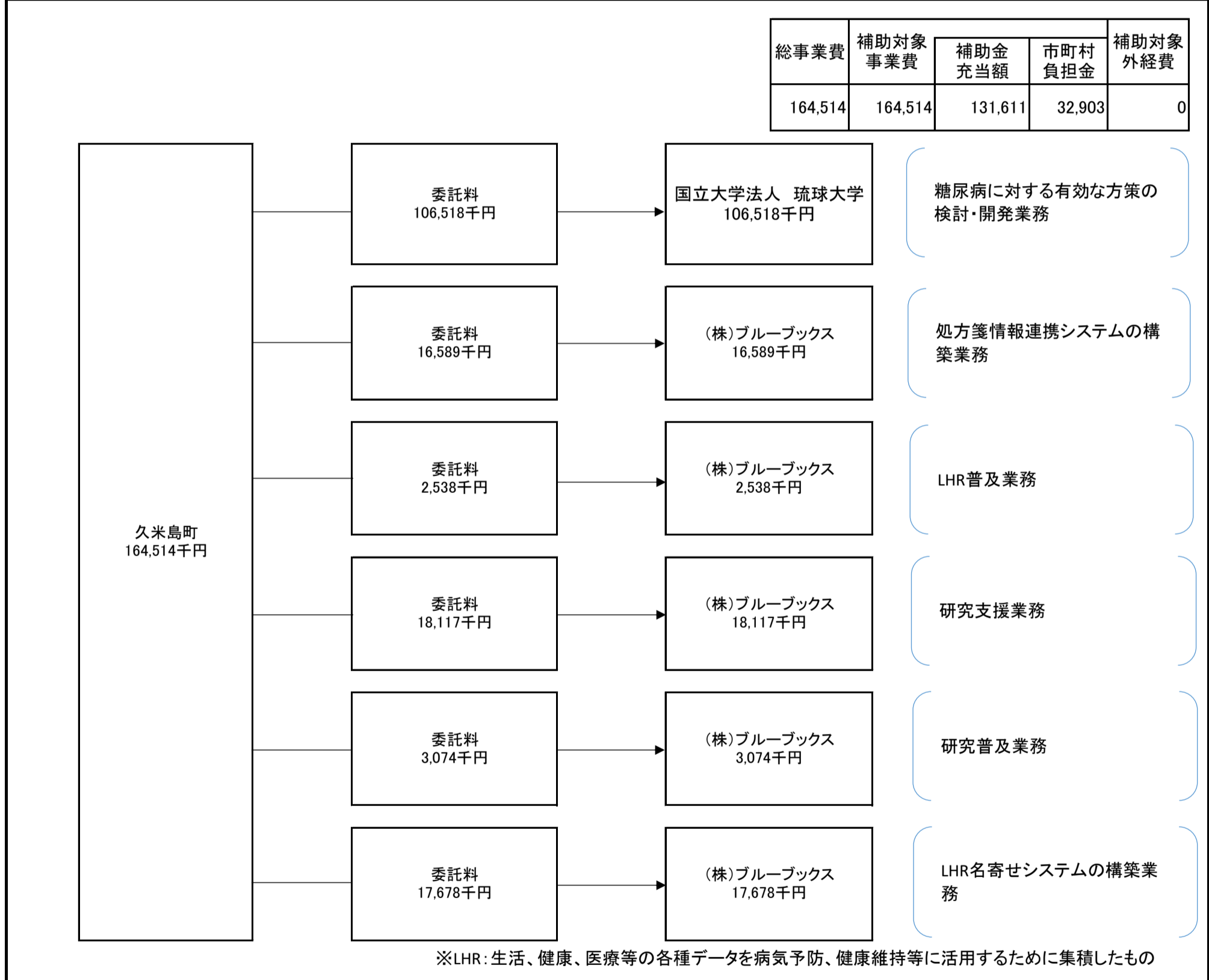
		29年度	30年度	31年度		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	184,134			
		(b) 予算現額	173,784			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 10,350			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計 (b+d)	173,784			
	B. 執行済額		164,514			
	うち補助金充当額		131,611			
	次年度繰越額		0			
	執行率 (%) (B/A)		94.7%			
	予算の状況の説明		当初の計画通り、本町の糖尿病に対する有効な方策の検討・開発するために必要な環境整備としてのシステムの構築及び支援は適正に執行できた。不用額は受託者である琉球大学において、研究計画の倫理審査会通過に時間を要し開始が予定より遅れたため、研究補助員及び検査に関する費用の減額によるものである。			

活動目標(指標)及び達成状況		達成状況			
			29年度	30年度	31年度
		医療データ等の収集と糖尿病に対して有効な方策の検討(データ解析検体数)	目標	600件	
	実績	600件			
町民の健康支援に資する環境の整備	目標	実施			
	実績	実施			
電子処方箋システムの導入	目標	実施			
	実績	実施			
達成状況説明	糖尿病に対する有効な方策の検討・開発をするために必要な住民の医療データの匿名化をはじめとするシステムの構築と支援体制が整ったことにより、データを安全に研究機関に送ることができ、目標の600件を達成することが出来た。				

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(28年度)	29年度	30年度	31年度		
			生活介入により、ヘモグロビンA1cの値が改善された町民の数	目標	-	20人以上	30人以上
				実績	-	11人	
進捗状況説明	島民の健康・医療情報等を収集し、健康管理を支援していくための仕組みは整ったため、30年度から生活介入を行い、被験者を募り健康管理を支援していく。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①被験者にスマホの利用に不慣れな者が多く、健康支援アプリの利用方法の習得に時間を要した。 ②活動量と体重の情報アプリと連動して正確に情報収集できるが、生活情報を収集するためのアプリの使い勝手が悪く収集率が悪い。 ③役場内に研究に関するプロジェクトの事務局を置いたため採血や調査、説明等実施する病院とデジタルデバイスに関する相談を受ける事務局とが別々の場所になり被験者に不便な状況となった。 ④被験者の募集をチラシや手紙で行ったが応募数が少なかったため、個別に電話をかけてみると、チラシや手紙を見たが参加意欲に繋がらなかった状況が分かった。	①被験者に対する説明会に十分な時間を確保し、機器等(アプリを含む)の利用方法について一人ひとりに丁寧な説明が必要である。 ②アプリへの生活情報の入力方法の改善が必要。 ③被験者に対する窓口を一本化する必要がある。 ④島民がより参加したいと思うような方法で被験者の募集を行う必要がある。
	今後の取り組み方針	
①被験者説明会を複数回に分けて人数を限定して開催し、機器等の利用方法の説明時間を十分に確保する。また、被験者一人ひとりに説明ができるよう、各関係団体から説明員を動員して対応する。 ②アプリへの生活情報の入力を手入力ではなくプルダウン式に改修する。また、食事内容を写真で記録する機能を追加し、より正確な生活情報の収集を行う。 ③デジタルヘルスプロジェクトの事務局を公立久米島病院内に置き、被験者の対応をワンストップで行う。 ④住民健診は多くの住民が自身の健康状況を見直す機会となっていることから、健診会場で被験者募集を行い、意欲的な参加者を募る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先は、「久米島町健康増進事業」を効率的に営み、優れた成果を達成することを目的としたコンソーシアム構成員であり妥当である。また、地方自治法施行令第167条の2第1項の規定により随意契約としている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、3社見積によるものとなっており妥当と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ検収時において確認を行い適正であった。